

子連だより

No. 126



子どもの未来を見つめ

生きる力の育成を地域と共に

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 会長 須田 貴子

日ごろより、子ども会活動にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、昨年は安全安心な活動を推進するため、KYT初・中級講習修了者への学び直し研修会の実施や子ども会未加入市町村関係者の皆様と課題や情報を共有しながら、体験交流会（遊びのひろば）やジュニアリーダー養成研修を開催することが出来、大変有意義な活動を展開することができました。初めての事業で戸惑うことも多く、関係教育委員会の皆様には、多大なるご迷惑をお掛け致しましたが、公務ご多忙にも関わらず、事業終了まで温かく対応していただき、役員一同、心より感謝しているところです。

さて、二年後に開催される関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会新潟大会（以下、関プロ新潟大会）を目前に控え、今年度は関プロ新潟大会実行委員会を立ち上げさせていたくことになりました。

大会の骨子として、昨今の情報化社会の中で、子どもたちが様々な人と関わり合いながら、豊かな人間性や判断力を身につけ、健全な心と体を養うと共に、新たな次代を拓く力を身につけていくことが重要であり、また、基礎となる家庭での教育力の低下や希薄な人間関係が問われる中、災害が起きるたびに、地域での支え合いや助け合う地域づくりが求められていることなどから、子どもの未来を見つめ、地域に点在する子ども会たちからこそできることをテーマと設定し、計画したいと考えております。

また、関プロ新潟大会の二年後には、関プロジュニアリーダー大会が本県で開催されることが確定していることもあり、今年度の活動は、両大会までの種まき事業として、子ども交流会（子どもの安全啓発事業）やジュニアリーダー登録者集会などを新規事業として計画致しました。子ども会の会員が少ない地区や子ども

も会がない地区における活動の活性化や育成者の意識啓発を図るとともに、各市子ども会連合組織との連携を図り、独自の事業を展開したいと考えております。

今後各市町村子ども会役員ならびに関係機関の皆さまには何かとご協力をお願いすることも多くなるかと推測致しますが、子どもの未来を見つめていただき、一層のご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、子ども会の役員だけでは実施不可能とされることも、県内には大勢の子どもを支えたいと思う仲間がいます。新たな次代に即した子どもたちを育てるのは私たち育成者であり、指導者です。出来ないことを並べるより、出来ることを一緒に考えます。是非、お気軽にご相談ください。故郷を愛しむ子どもたちを地域の皆様と共に育むため、本年も一層のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



未来を拓く子どもの育成と

子ども会活動に期待すること

中越教育事務所社会教育課 課長 大淵 英一

一 はじめに

現代は人生百年時代、超スマート社会の到来など社会の大きな転換点にあります。時代の変化に対応し、どのように子どもを育成していくのかが大きな課題となっています。

新潟県では、子どもたちが心豊かに健やかに成長していけるように、親や家族、地域の大人一人一人が、それぞれの役割と責任を担い、子どもたちを支え育んでいく地域をつくる取組を推進しています。

未来を拓く子どもの育成のために子ども会活動を推進する皆様に次のことを期待します。

二 子ども会活動に期待すること

○体験活動の推進

体験活動は、子どもの発達段階に応じて、豊かな人間性を育み、生きる力を養う重要な機会となります。

地域では、子どもたちは「さいの神」や「お楽しみ会」の行事等様々な活動をおとして、自然や人間関係、文化を感じとり、人間形成に必要な資質や能力を獲得していきます。昨今はテレビを見たりゲームをしたりする時間が日

常の多くを占めており、子どもの成長にはますます体験活動が欠かせないものとなっています。

また、遊びの中での成功体験や試行錯誤、失敗しながら学んだことは、たくましさや忍耐力を育み、達成感と次への意欲を生みます。子どもが自ら考え工夫する場面をつくり、活動を充実していくことを期待します。

○魅力あるプログラムづくり

ジュニアリーダー研修会と地区別の交歓会は、異年齢の子どもで構成されていることから、子どもは普段の学校生活や家庭では感じたことのない多様な性に触れ、新しい出会いに喜んだり理不尽さを抱いたりしながら、活動の中で成長していきます。「新潟県子連だより」にも、ジュニアリーダーとして活動できて良かったという報告がたくさん掲載されています。

私が以前勤務した小学校のT君は、記事が掲載されていました。T君は、素直で優しい高学年児童でした。(記事は中学二年)「当時は特技とかそういうのがなかったのでジュニアリーダーに入ればいろいろなことが覚えれるかなと思ったので入ることにしま

した。それから数回リーダーとして参加しました。一緒に子どもたちと遊んだりできて楽しかったです。このときには気持ちよかったです。『リーダーだけが楽しんじゃいけない。』ことも学びました。(中略)未熟なところを良くして、良いリーダーになれるようにがんばっていきます。』記事からは、T君が宿泊研修等に参加するたびに、多くを学び自信をつけたことが読み取れます。リーダーを経験した多くの中高生が、小学生や他のリーダー、大人の方々と関わったことで今の自分がいると記し、感謝の言葉を述べています。

学校や家庭では得られない子ども会活動の体験は、子ども会育成者の適切な指導とプログラムの工夫により青少年の能力を引き出しています。

○地域の一人としての自覚の育成
子どもは、地域の祭りや郷土芸能、防災教育など、直接地域の方から学び、様々な世代と交流することで、地域を好きになり、地域社会の一人を自覚していきます。地域も「地域の子どもは地域で育てている」とことを実感します。また、それらの地域活動で「子どもが

話し合って準備し、自分たちで運営していく」ことを年間で一回は、取り組ませたいものです。青少年に責任をもたせることで、地域の一人としての自覚はさらに膨らみます。「子どもの手による子ども会」の推進に期待します。

○様々な団体による社会全体で子どもを育む地域活動の推進
地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働活動が平成二十九年三月の社会教育法の改正により法律に位置づけられました。これからはNPO、PTA、企業なども地域学校協働活動をおとして連携する機会が多くなります。

豊富な経験と優れた知識や技術を持った人材が、子どもを軸とした活動をすることで近い存在となります。様々な団体が連携・協働して、子どもの育成を行うことをとおして新しい関係を築き、地域活動を推進していくきっかけとなればと考えます。

三 おわりに

子どもが地域で安心・安全に過ごし、多様な体験活動ができるように活動を推進してこられた皆様の四十年以上の御尽力に敬意を表します。

子ども会活動をおとして、地域の子どもと子ども、子どもと大人が深くかわり、ともに成長し、地域がますます発展することを祈念します。



新潟県子ども会育成連合会総会

長岡市栃尾大会開催の報告

新潟県子ども会育成連合会 副会長 風間 浩一

(一社)新潟県子ども会育成連合会の第四十三回総会が平成三十年五月二十日に中越ブロックである、長岡市栃尾産業交流センター(おりなす)において、子どもの遊びの広場も同時で開催されました。

総会に先立ち開会式典を、来賓に新潟県教育庁生涯学習推進課長 信田直樹様、長岡市長 磯田達伸様に代わり、教育長 高橋謙様、国立妙高青少年自然の家所長 星野浩一様、新潟県生涯学習推進センター所長 長谷川明寿様、新潟県少年自然の家指導課長 三膳章様をお迎えし、司会進行の本会理事 佐藤栄作より開会の辞により開会いたしました。

平成二十九年度中子ども会に關わった方の逝去者に黙祷し、本会会長 須田貴子より開会のあいさつが行われましたが、新潟市小針での小学女児殺害事件並びに阿賀野市の登山遭難事故について触れ、哀悼の意を表すとともに事件防止には一層の地域連携が必要とされ、子ども会も大きくかわる問題であると締めくくりつつも、手を指し伸ばせないもどかしさも垣間見せたあいさつでした。



会長のあいさつに続き、子ども会功勞者の表彰がありました。

育成・指導者の部から三名、シニアリーダーの部から五名、子ども会の部から二団体、組織育成の部から一団体と、各地から推薦を受けた皆様に会長より賞状と記念品を手渡されました。

また、平成二十九年度全国子ども会連合会表彰を受けた方々を紹介し、全受賞者に対し盛大な拍手が送られました。

列席の御来賓より祝辞を頂きました。新潟県教育庁生涯学習推進課長 信田様からは新潟市小針の事件については非常に心を痛めたことを、長岡市教育長 高橋様からは子どもの遊びの広場でのユニバーシアードの活躍に大変感心した事をお話して頂きました。

表彰者を代表し、南魚沼市子連の加藤良治様より謝辞を述べられました。育成者として現場での苦労やもどかしさなどを語られたことで、出席者の共感も得ていたようでした。

ここで、盛大な拍手に送られ来賓並びに表彰者各位は退場され、式典は終了となりました。

小休憩を挟み、県子連総会が執り行われました。議長選任では「執行部一任」の発声があり、慣例により総会開催ブロックの中越地区から加茂市子連副会長の蝶名林功氏が推薦・承認され、就任あいさつをしていただきました。

議事に入る前に会則に従い定足数の確認を行い、会が成立したところで議事録署名人の指名を行い承認を得ました。

これより議案の審議となります。議長の発言により、第二号議案(平成二十九年度会務並びに事業報告)を関係担当者から説明・解説していただきました。また関連があるということで第二号議案(平成二十九年度決算報告および会計監査報告)の報告を議長から求められ、事務局より決算の報告がなされ、決算についての監査報告を監事である加藤清夫様より行っていたきました。

第二号および第二号議案について、審議を行い議案の賛同・承認を得ました。

第三号議案(平成三十年度役員・理事等の承認)については、理事等による審議の結果および結果を説明し、提出議案の審議・承認を求め満場一致で承認されました。



引き続き第四号議案(平成三十年度事業計画案)を、統括案を会長が、総務指導研修、広報、安全部の計画は各部長が、専門委員会からは委員長が各部門との連携を強化した委員会活動を提示いたしました。さらに、会長からは平成32年度新潟県大会について実行委員会を立ち上げ、運用を始める旨の提示があり質疑を求めました。

各部署の説明が要領よくまとまっていたことから、簡単な確認事項にて質疑応答は終了し、議案の賛同を得ました。

第五号議案(平成三十年度予算(案))については、会長より前年までの決算を参考に予算配分を計画した旨の説明があった。

議長より予算(案)について審議を求め、原案通り承認を得、提出議案の審議はすべて終了した。議長は退任の挨拶をし、総会は終了した。

恒例となっている、総会と同時開催の「子どもの遊びの広場」は八つの参加団体によって盛り上げていただいた。小学校などでは運動会が前日天候不順で中止延期となった影響を物ともせず、午前中から開場を待つ家族もあられた。約五〇名余りの来訪者がありました。今後の開催事業については別記事に詳細が掲載されております。随時ご案内いたしますので参加していただければ幸いです。

最後となりますが、本総会ならびに遊びの広場を開催するに当たり、会場の選定から手配。また当日の運営に際しての各位の協力に感謝を申し上げますと共に、本総会の報告いたします。

上越地区

ぼく達の子ども会

板倉区針子ども育成会

六年 三浦 朋来

ぼくの住む地区では、色々な子ども会行事を行っています。その中でも、八月に行われる塚之宮八幡宮例大祭は、夏の大イベントです。昼間は、子ども神輿に参加し暑い中、自分の住んでいる町内の長い距離を、仲間と一緒に子ども神輿をゴールの塚之宮八幡宮まで「わっしょい、わっしょい」と、声をだして、がんばってかっきます。夜は、民謡流しに参加します。途中で休けいした時にもらうジュースは、最高で、毎年楽しみです。さらに、ゴールの塚之宮では、町内会の方々が、用意してくださる冷たいそうめんが、最高に美味しくて、何回もおかわりをして食べました。

九月には、親子イベントに参加して、クラフト体験と、野外活動のレクリエーションを楽しみました。国立妙高青少年自然の家というところで、行いましたが、空気がさわやかでとても気持ちのいいところです。クラフト体験では、インディアンのお守りのゴッドアイを作りました。野外で小枝を集め、毛糸を巻きます。それぞれ個性がでて、ひとつとして同じものはありません。むずかしかったけれど、上手にできました。野外活動は、親子のグループで、逃走中のようなオリエンテーションをしました。広いフィールドで、問題を解きながら、ときには、ハンターに追われ、ハラハラドキドキの楽しい時間でした。親子での楽しい思い出がたくさんできてよかったです。

ぼくも、六年生になり、今年で子ども会も最後になります。最後の一年は、今まで以上に色々な行事を楽しみ、子ども会の仲間と仲良く協力していきたいと思います。これからも、子ども会や地域が続くことを願っています。



中越地区

育成会活動

加茂市秋房育成会

中学三年 長谷川 光希

私の住む地区には育成会があります。育成会にはたくさんの方々がいます。まず「新入生おめでとう会」があり毎年新小学一年生と新中学一年生をみんなで祝います。ここから一年生は育成会の活動に参加するようになるのです。

小学生の間は夏のバーベキューや流しそうめん、そして盆踊り大会での射的に輪投げが楽しめましたが、中学生になると大人の人に混じって色々な作業を手伝うようになります。今までは景品をとるのが楽しかった盆踊り大会では、中学生男子が射的などの屋台の係になり準備も自分達でするようになります。女子はクレープやかき氷の係りです。準備をするのは面倒ですが、小さな子どもも景品がとれるように工夫したりするのは楽しいです。

私が育成会の活動のなかで一番大変だと思うのは、小中合同行事もあわせると年に4回ある廃品回収です。私は小学生のときからずっと参加し

てきましたが、中学生になると男子は回収トラックの荷台に乗り、みんなが集めてきた古新聞、古雑誌、ダンボールなどを荷台に積みこむ役をします。先日、中学三年になって初めての廃品回収がありました。あいにくの雨でした。少しずつ雨が強くなるなか、小さな子どもががんばって回収を手伝ってくれました。私の担当のダンボールもぬれて重くなり荷崩れしそうで大変でしたが、周りの大人や地域の人が「えらいね、一生懸命だね」とほめてくれたので、とても嬉しかったです。

私が活動に参加するのは今年で最後になりますが、残りの活動にも精一杯参加して、私達が卒業しても育成会はいつまでも続いてほしいなと思っています。



下越地区

楽しかった子ども会の活動

新潟市 近江下三町内子供会

六年 佐藤 響

地区での活動では様々なことがありましたが、この中で三つを挙げたいと思います。

一つ目はハロウィン会です。様々な所でお菓子をもらいながら交通安全について「ここは危険だ」「ここは気をつけよう」などと声をかけ合いながら歩いて良かったと思います。

二つ目はクリスマス会です。定番のビンゴ大会、スノーマンキャラクター作り、ドーナツを使ったお菓子作りで幅広い世代で楽しめました。

三つ目はポスター書きです。みんなで集会所に集まって楽しみながら環境についてのポスターを仕上げました。

最後になりますが、子供会を支えてくださった町内の皆さん本当にありがとうございました。



子ども会での思い出

新潟市 近江下三町内子供会

六年 川島 姫夏

地区での活動で印象に残っている事が三つあります。

一つ目は、敬老会です。町内の花だんの花で押し花をし、しおりにしてプレゼントしました。作っている時も

楽しかったのですが、あげた時にみんなが喜んでくださった事がうれしかったです。

二つ目は、長岡丘陵公園です。町内のみなさんとバスで行き、公園では、遊具や水遊びをしたり、すいか割りやおかし食い競争などをして遊び、みんなでお弁当を食べました。みんなと出かけて、普たん遊べないところに行けたのが楽しかったです。

三つ目は、習字です。町内の方に教えてもらいながらやりました。優しく教えてくれたので、自分が書いた字がきれいになってとてもうれしかったです。



佐渡地区

奉仕活動と

ジオパーク見学

佐渡市 元小木・上野子供会

六年 市川 優月

小雨が降る中、私たちは、まずごみ拾いを行いました。ごみを拾っていくと、自分たちが通った道はとてもきれいになって、道路や歩道は、なんだか嬉しそうに見えてきます。自分たちの通る道がきれいになったことは、拾った私たちも、そこを歩く人も、良い気分になります。

その後、矢島・経島周辺を散策しました。ごつごつした岩ができた理由や、枕状溶岩のできたときのお話などを、ジオパークのガイドさんにしていただきました。

佐渡も昔は、火山がふん火して、その溶岩が海に流れ込み、つめたい海水で、溶岩が冷やし固められたというお話をお聞きしました。



他にも

枕状溶岩には、ひびなどが入っており、ごつごつしているのが特徴だそうです。



お話を聞いた後、ガイドさんご指導のもと、化石レプリカ作りを体験しました。色とりどりの材料と型を使って、一人一人、それぞれ好きな色の化石を作っていました。

自分たちが住んでいる地域にあるジオパークのお話を聞いて、これからこのジオパークを大切にしていきたいと思っています。佐渡の自然に触れることができて、とても



楽しかったです。小学校最後の良い思い出になりました。

平成30年度 県子連運営基本方針・事業

(1) 県子連運営の基本方針

- ① 時代の要請に応える子ども会づくり
・子ども会の果たす役割の意義を理解し、地域にも広めよう。 ・広報活動等を通して、情報発信基地の役割を果たそう。
- ② 子どもの手による子ども会づくり
・地域の力を結集し、子どもが主役のドラマを創ろう。 ・子どもたちが自ら考え、工夫する場面をつくろう。
- ③ 指導者研修の充実
・安全啓発（子ども会KYT等）指導者研修会に進んで参加しよう。 ・ジュニア（シニア）・リーダー研修会に進んで参加しよう。
- ④ 県子連と市区町村子連の連携強化
・県子連の情報を市区町村子連に伝え、認識の共有化を図ろう。 ・市区町村子連代表（理事等）は、情報を確実に事務局に伝えよう。
- ⑤ 県子連役職員の行動規範の遵守
・職務の遂行に当たっては、県民及び会員の信頼を得られるよう一人一人が高い倫理観をもって行動しよう。

(2) 各指導部の重点項目

＜総務部＞【重点目標：加盟団体の会員拡大と未加入市町村の解消を図ろう】

1 第43回定例総会 長岡大会

- (1) 期 日 平成30年5月20日（日） (2) 会 場 長岡市栃尾産業交流センター（おりなす）
- (3) 内 容 表彰式・議事・全子連表彰者（団体）の紹介・子どもの遊びのひろば

2 平成30年度の理事会（時間は午前10時00分～午後3時30分まで）

	摘 要		懇 親 会
第1回	期 日	平成30年6月3日（日）	有リ
	会 場	新潟市芸術創造村・国際青少年センター	
第2回	期 日	平成30年12月2日（日）	なし
	会 場	長岡市中央公民館（さいわいプラザ）	
第3回	期 日	平成31年3月3日（日）	有リ
	会 場	新潟市芸術創造村・国際青少年センター	

3 災害復興祈念事業「子どもの遊びのひろば」

- 第一回 期 日 平成30年5月20日（日）
(第31回) 会 場 長岡市栃尾産業交流センター（おりなす）
時 間 午後12時30分～15時30分
- 第二回 期 日 平成30年7月22日（日）
(第32回) 会 場 新潟市生涯学習センター
時 間 午前11時00分～午後3時00分
・参加団体には教材費として2万円を支給する。
- 第三回 期 日 平成30年9月15日（土）（県民フォーラムへの参加）
(第33回) 会 場 新潟県立生涯学習推進センター
その他 会場の関係で参加制限あり（積み木コーナー、その他）

4 平成30年度各地区事業計画

	総 会		子ども交歓大会
上越地区	期日 会場	5月26日（土） 妙高市わくわくランドあらい	10月27日（土）～28日（日） 国立妙高青少年自然の家
中越地区	期日 会場	5月12日（土） 三条市青少年育成センター	10月28日（日） 十日町段十ろう
下越地区	期日 会場	4月22日（日） 新潟市生涯学習センター	8月4日（土）～5日（日） 阿賀野市五頭少年自然の家
佐渡地区	期日 会場	5月21日（月） 畑野農村環境改善センター	12月1日（土） サンテラ佐渡スーパーアリーナ

【地区代表が責任をもって実施する】

- ・地区別総会を年間計画に位置付けて実施する。
- ・地区別子ども交歓大会は、県の補助事業であり、事業終了後には速やかな実施報告書を提出する。

＜指導研修部＞【重点目標：ジュニア・リーダー研修会を充実させ、青年指導者を育成しよう】

1 平成30年度ジュニア・リーダー中級研修会

	総 会		子ども交歓大会
第一回	平成30年 6月30日（土） 7月1日（日）	国立妙高青少年自然の家	〈1日目〉・研修1 オリエンテーション及び「子ども会の組織と運営」 ・研修2 「ジュニア・リーダーの役割」 ・研修3 「児童文化活動」（スタンツ） ・研修4 「CF or CS準備」（スタンツの活用） ・研修5 「CF or CS」 〈2日目〉・研修6 「プログラムを作ってみよう」 ・研修7 「バステルアートの基本」 ・研修8 「バステルアートのチラシづくり」
第二回	平成30年 10月20日（土） ～21日（日）	新潟市 芸術創造村・ 国際青少年センター	〈1日目〉・研修1 オリエンテーション及び「レクリエーション活動」 ・研修2 「子ども会活動の意義」 ・研修3 「子ども会活動の進め方」 ・研修4 「コマづくりの基本」 ・研修5 「新潟街中探検」（夕食を含む） 〈2日目〉・研修6 「安全啓発」 ・研修7 「災害時の食事づくり」
第三回	平成31年 3月16日（土）	長岡市千手 コミュニティセンター	・研修1 「ジュニア・リーダーの役割」 ・研修2 「安全啓発」（救急法の実技1） ・研修3 「安全啓発」（救急法の実技2）

2 関プロ子ども会ジュニア・リーダー大会

期 日 平成30年8月10日（金）～12日（日）

会 場 茨城県水戸市少年自然の家

その他 ・参加費と交通費は県子連で負担する。宿泊費（食費を含む）は個人負担とする。マイクロバスで参加予定。
 ・研修会終了後、県子連JL登録者集会に参加し、感想発表やレク伝達等を行って欲しい。
 ・県子連だよりに感想等を寄稿する。

3 全国子ども会シニア・リーダー研修会

期 日 平成30年9月22日（土）～23日（日）

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

その他 参加費（夕食・宿泊・朝食・昼食）は県子連で負担する。

交通費は5千円補助する。

研修会終了後は、県子連だよりに感想等を寄稿する。また必要によりJL等の指導に当たる。

4 【新規】平成30年度県子連ジュニア・リーダー登録者集会兼関プロJL参加者報告会

期 日 平成30年9月8日（土）か9日（日）

会 場 登録者人数の多い市区町村で実施する。（予定）

・8月の関プロJL大会に参加した人達から知識や技能を引き継ぐ会にしたい。
 ・（関プロJL大会参加者の感想やレクの伝達等）
 ・県子連JLクラブの代表・副代表を選出する。（組織の設立）
 ・JLの意義や役割、レクリエーションを実施する。（予定）

<広報部> 【重点項目：県子連情報や地域子ども会の活動紹介を通して、魅力ある広報活動を推進しよう】**1 県子連だより「ニイガタ子ども会」の発行**

第126号 平成30年6月8日（金）発行

第127号 平成30年11月30日（金）発行

第128号 平成31年3月8日（金）発行

<安全部> 【安全啓発（子ども会KYT等）を通して、安全な活動をすすめよう】**1 新潟県子ども会安全啓発初級指導者養成講習会**

(1) 期 日 平成30年7月8日（日）

(2) 時 間 午前9時30分～午後3時30分

(3) 会 場 柏崎市民プラザ TEL 0257-20-7500

(4) 講 師 全子連事務局長 杉浦 隆 様

(5) その他 参加費 無料 昼食弁当県子連で負担。希望者には修了証・認定証を発行する。

2 子ども会安全啓発（KYT等）実践普及活動（市町村安全啓発活動）

子ども会行事や活動の中で、安全啓発の実習及び講義等を入れて、安全教育の推進に努める。

実施報告によりその月の加入者によって補助金を1人10円配布する。

この講習会等に要請があれば講師を派遣する（謝金・旅費は県子連負担）

<派遣事業>**1 第46回関東甲信越静地区子ども会ジュニア・リーダー大会**

期 日 平成30年8月10日（金）～12日（日）

会 場 茨城県：水戸市少年自然の家

2 第51回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会

ア 期 日 平成30年9月30日（日）～10月1日（月）

イ 会 場 栃木県「りんどう湖ロイヤルホテル」TEL 0287-76-1122

ウ 参加者 約30人（宿泊費等 未定）参加費 県子連負担

3 第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会

ア 期 日 平成30年7月14日（土）～15日（日）

イ 会 場 名古屋市「ローズコートホテル&名古屋市中区役所」

ウ 内 容 開会式・表彰式・記念式典、研究協議、情報交換、閉会式（予定）

4 第52回全国子ども会育成中央会議・研究大会

ア 期 日 平成31年2月23日（土）～25日（月）

イ 会 場 石川県立音楽堂ホール（金沢市）

ウ 内 容 未定

5 関東甲信越静地区子ども会安全啓発中級指導者養成講習会

ア 期 日 平成31年1月19日（土）～20日（日）

イ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

ウ 内 容 子ども会安全啓発指導者初級養成講習会の講師を務められる子ども会安全啓発中級指導者の養成を目指す。

エ 経 費 参加費（未定）円 宿泊費（未定）円（食費は別途）

オ その他 県子連の初級指導者講習会修了者

平成29年度 決算報告書

貸 借 対 照 表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	31,062,913	32,554,452	△1,491,539
立 替 金	7,269	0	7,269
流動資産合計	31,070,182	32,554,452	△1,484,270
2. 固 定 資 産			
固定資産合計	0	0	0
資 産 合 計	31,070,182	32,554,452	△1,484,270
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	72,157	25,433	46,724
預 り 金	24,250	23,686	564
前 受 金	186,120	201,960	△ 15,840
賞与引当金	152,000	154,000	△ 2,000
流動負債合計	434,527	405,079	29,448
2. 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	434,527	405,079	29,448
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
(1) 代 替 基 金			
(2) その他一般正味財産	30,635,655	32,149,373	△1,513,718
一般正味財産合計	30,635,655	32,149,373	△1,513,718
(うち基本財産への充当額)	0		0
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	30,635,655	32,149,373	△1,513,718
負債及び正味財産合計	31,070,182	32,554,452	△1,484,270

平成30年度 収支予算書

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	H29予算額	H30予算額	増 減 額	摘 要
受 取 会 費	13,640,000	13,200,000	△ 440,000	加入者数 60,000人×220円
安 全 教 育 助 成 費	620,000	600,000	△ 20,000	
県 費 補 助 金	192,000	192,000	0	
繰 入 金	300,000	334,727	34,727	創立40周年口座解約
雑 収 益	1,766	413	△ 1,353	預金利息
繰 越 金	3,899,634	3,364,800	△ 534,834	
収 入 合 計	18,653,400	17,691,940	△ 961,460	

2. 支出の部

科 目		H29予算額	H30予算額	増 減 額	摘 要
事業費	安全共済掛金	4,338,000	4,198,000	△ 140,000	加入者数 60,000人
	事業費	2,250,000	2,220,000	△ 30,000	総会 広報 JL中級 地区別活動費 等
	大会参加費等	1,140,000	1,460,000	320,000	関プロ地区協議会 全子連中央会議 等
	会議費	1,330,000	1,380,000	50,000	各部門会議 会長会議 等
	支払負担金	162,000	162,000	0	全子連 関プロ 社教団体 等
	支払報酬	230,000	230,000	0	JL中級 KYT 講師謝金
	旅費交通費	50,000	50,000	0	講師旅費 安全教育指導者研 等
	管理諸費	60,000	65,000	5,000	会費振込手数料 等
	印刷製本費	140,000	200,000	60,000	加入申込書 手引き
	新規事業費	550,000	200,000	△ 350,000	JL養成 指導者研修 関プロ会議準備 等
予備費	75,000	63,340	△ 11,660		
運営費	給与手当	3,060,000	3,110,000	50,000	事務局員 2 名
	従業員賞与	400,000	400,000	0	事務局長
	法定福利費	400,000	400,000	0	社会保険料（会社負担）
	福利厚生費	200,000	150,000	△ 50,000	事務局員 2 名
	旅費交通費	110,000	110,000	0	監査員 会議等
	リース料	320,000	200,000	△ 120,000	コピー機 パソコンリース
	貸借料	1,020,000	1,020,000	0	事務所家賃
	消耗品費	280,000	300,000	20,000	事務用品等
	通信運搬費	360,000	360,000	0	市区町村への郵送 電話 インターネット
	光熱水料費	150,000	150,000	0	事務所光熱費
	諸謝金	20,000	30,000	10,000	下部団体お祝い金 慶弔費
	消耗什器備品費	60,000	60,000	0	表札 白板 白布
	管理諸費	300,000	300,000	0	会計士顧問料 振込手数料
	印刷製本費	50,000	50,000	0	名刺 封筒 賞状作成
	雑費	20,000	15,000	△ 5,000	町内会費 役員・事務局共済会加入
	租税公課		1,000	1,000	
	積立金	200,000	200,000	0	
繰出金	300,000		△ 300,000		
予備費	1,078,400	607,600	△ 470,800		
支出合計		18,653,400	17,691,940	△ 961,460	

おめでとうございます 平成30年度県子連被表彰者・団体氏名一覧表

(敬称略)

1 育成者・指導者の部

No	市区町村	氏名	活動歴	所属子ども会等
1	南魚沼市	加藤 良治	27年	南魚沼市子ども会連絡協議会
2	柏崎市	三井田 孝	7年	柏崎市比角地区子ども育成会
3	柏崎市	田辺 和幸	12年	柏崎市子ども連合会

2 ジュニア・リーダーの部

No	市区町村	氏名	活動歴	所属子ども会等
1	上越市柿崎区	飯塚 亜海	5年	柿崎ジュニアリーダークラブ
2	上越市板倉区	額田 芽依	5年	板倉子ども会連絡協議会
3	上越市板倉区	金子 和樹	5年	板倉子ども会連絡協議会
4	妙高市	須山 綺女	6年	妙高市ジュニア・リーダー
5	妙高市	牛木 拓海	5年	妙高市ジュニア・リーダー

3 団体・単位子ども会の部

No	市区町村	団体名	活動歴	代表者氏名
1	柏崎市	田尻地区子供会育成会	34年	榎本 幸雄
2	長岡市	悠和子ども会	31年	大月 絵理

4 団体・育成組織の部

No	市区町村	団体名	活動歴	代表者氏名
1	上越市	柿崎子ども会連合会	52年	小山 貞榮

5 全子連表彰(平成29年度)

(1) 期日 平成30年7月14日(金)

全国子ども会育成中央会議・研究大会で受賞

(2) 会場 名古屋市「ローズコートホテル&名古屋市中区役所」

(3) 個人の部(20年以上継続して活動した人)

表彰状	感謝状
武士俣 昭司(三条市)	武士俣 綾子
齊藤 勝久(十日町市)	齊藤 トミ子



ますますのご活躍を!!



ひとり言

南魚沼市子ども会連絡協議会
アドバイザー 加藤 良治

この度は、県子連表彰を頂き、ありがとうございます。これも市子連の皆様のおかげと感謝しております。表彰者を代表し、お礼のご挨拶を申し上げます。
私は単子・六子連・市子連を通じ、三千年近く携わってきましたが、皆さんに自慢できることはありません。キャンプでは蜂に刺され救急車騒ぎ、飲酒騒ぎなどいろいろありました。また、子ども会大会での工作時、竹とんぼ作りではナイフで指を切る等。しかし、それらも含めれば良い思い出です。

キャンプの夕食準備でマッチから火を起せない、工作ではナイフの使い方が解らない。机上やネットでは学べないことです。経験に勝るものは無いと思います。ぜひ、お子さんに炊事・洗濯・農作業等お手伝いをさせて下さい。

そこで私のひとり言です。人間は火を使うことが出来たので、ここまで生き延びてきたと思っています。家庭から一歩外に出れば電気もガスも無いのが現実です。ぜひ、ボケが始まるまではオール電化等に走らずに火を使う部分を残しておいてほしいと思っています。地震、水害等災害時にきつと役に立つと思います。

最後に、県子連の発展と子供さんが増え、単位子ども会の加入者が多くなることがを祈念いたします。

平成30年度県子連役員所属一覧表（案）

顧問：武士俣昭司

		氏 名	役職	選出地区	市 町 村	総務部	指導研修	広報部	安全部
理 事	1	瀧 本 晴 夫		上 越	上 越 市			◎	
	2	小 関 茂 幸			柿 崎 区		○		
	3	藤 田 健 男			頸 城 区		○		
	4	福 崎 幸 一			板 倉 区	○			
	5	大 坪 寛			三 和 区				○
	6	岡 田 政 枝	副会長		妙 高 市				○
	7	柊 澤 政 晴		中 越	長 岡 市		◎		
	8	小 川 真美子			長 岡 市	○			
	9	須 田 貴 子	会 長		柏 崎 市				
	10	駒 形 弘 之			十日町市		○		
	11	田 中 正 裕			見 附 市			○	
	12	佐 藤 栄 作			三 条 市				◎
	13	蝶名林 功			加 茂 市				○
	14	風 岡 浩 一	副会長		南魚沼市		○		
	15	濱 田 宏 幸		下 越	新 潟 市				○
	16	真 保 洋 子			新 潟 市	○			
	17	桐 生 正 栄			新発田市	◎			
	18	近 藤 正 利	副会長		阿賀野市			○	
	19	石 塚 猛		佐 渡	佐 渡 市	○			

◎は部長（部長は互選による）

		氏 名	市区町村
監事	1	滝 澤 麻樹子	柿 崎 区
	2	加 藤 清 夫	新発田市

		氏 名	市区町村
編集 委員	1	五十嵐 孝 夫	柏 崎 市
	2	河 原 森 久	佐 渡 市

		氏 名	市区町村
専門 委員	1	林 るみ子	妙 高 市
	2	西 堀 勉	長 岡 市
	3	真 保 栄	加 茂 市
	4	石 黒 功	柏 崎 市
	5	上 野 一 美	頸 城 区

		氏 名	市区町村
事務局	1	板 垣 徳 衛	新 潟 市
	2	平 原 しのぶ	新 潟 市

平成29年度 共済金給付状況

① 平成29年度 発生

受付No	性別	年齢	事故日	行事名	場所	事故概要	傷病名	部位	通院	入院
1	女	10	H29. 6.17	ボウリング大会	NAGAOKA 遊 BOWL	ボールが足に落ちて負傷した。	打撲	足	1	
2	男	8	H29. 8. 5	親子行事	千溝集落センター	腰高窓枠に腰を掛けて友達と遊んでいたが、外側へ落ち頭部強打した。	創傷	頭	3	
3	男	45	H29. 8. 5	豊詠祭り	諏訪神社	やぐらを抱きかかえたまま転倒した。	創傷	腕	7	
4	男	12	H29. 7.29	レクリエーション・キャンプ	見野小学校体育館	ドッジボール中、足元のボールに気付かず後退し転倒した。	骨折	足	2	
5	女	11	H29. 8. 6	サマーキャンプ	中鱒石コミセンランド	「ティーボール」の走塁時に足首をひねった。	捻挫	足	2	
6	男	10	H29. 9.24	中央っ子カップ	新井中央小学校グラウンド	バッターが打った球が顔を直撃した。	打撲	顔	2	
7	女	13	H29. 9.30	ジュニア・リーダー養成研修キャンプ	県立こども自然王国	「野球鬼ごっこ」の鬼役で他の子を捕まえようとした時、手を強打した。	突き指	手	1	
8	女	12	H29. 7.23	夏の大祭	錦町地内	神輿を担いで巡回中、上から体重をかけられ負傷した。	捻挫、骨折	腕	15	
9	女	11	H29.12.10	みんな友だち	千手コミュニティセンター	作成したブーメランで遊んでいたが、他の児童が投げたブーメランが目にあたった。	眼球の傷	顔	2	
10	女	37	H29.11.12	ボウリング大会	遊ボール	競技中に段差で足をひねった。	捻挫	足	4	
11	女	11	H30. 1. 7	賽の神	吉川区原の町地内	点火の際、火が高く昇り手を負傷した。	火傷	手	1	
12	男	47	H30. 1.14	賽の神	杉沢町・本明川沿い竹林	賽の神に使用する竹を採取中、雪に足をとられ転倒し膝を負傷した。	関節炎	足	4	

② 平成28年度 発生

受付No	性別	年齢	事故日	行事名	場所	事故概要	傷病名	部位	通院	入院
16	男	7	H29. 9.28	親子ドッジボール大会練習	今町中学校	練習中に足を滑らせ転倒し、前歯を強打した。	前歯損傷	歯	2	
17	男	10	H29. 3. 4	六送会	弥彦ラビットボール	前の子が投球時に腕を後ろに振り上げた際、被害者の歯にあたった。	前歯損傷	歯	3	

《後遺障害》

受付No	性別	年齢	事故日	行事名	場所	事故概要	傷病名	部位	通院	入院
1	女	15	H24. 8.26	子ども神輿と流しそうめん	石動神社境内	休憩中に境内で遊んでいたが、走り回っていた男児と衝突し転倒。その時、大腿部を強打し損傷部が壊死した。	ペルテス病	足	40	42
2	女	10	H29. 2.25	キャンドルロード準備	和田集会所	雪像作りの最中にトイレへ行く時、縁の下で蓋が開いている所へ落下した。	裂創、打撲	顔面	3	

※ 平成29年度発生 後遺障害 0件

《賠償責任保険》

受付No	性別	年齢	事故日	行事名	場所	事故概要
16			H28.10. 8	ソフトバレー練習	新井中学校	体育館でコート区切るため養生テープを使用。剥がしたら床が傷ついた。

※ 平成29年度発生 賠償責任保険 0件

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

編集発行 一般社団法人
新潟県子ども会育成連合会
〒九五一―八二二
新潟市中央区白山浦一―三〇〇
電話 〇二五―三〇―五二九八
FAX 〇二五―三〇―五二九二

〇原稿を執筆していただきました皆様に御礼申し上げます。
(文責：板垣)

〇二〇二〇年の関プロ新潟大会の実行委員会組織も決まり、具体的に動き出すこととなりました。
七月七日七夕の日には第一回実行委員会が開催されます。
関係者の皆様の御出席をお願いいたします。

〇今年の県子連総会は五月二十日(日)に長岡市栃尾産業交流センター(おりなす)で開催されました。
念願である会議の短縮化を図ることができました。
皆様のご協力に感謝申し上げます。

